

針金 勝彦 平政・公明党

令和6年度当初予算に対する思いや考えは

自主財源が減少している中、起債や財政調整基金等を活用し、予算を編成したと思うが、当初予算に対する市長の思いや考えは。

第2次能代市総合計画後期基本計画の3つの重要事項を踏まえた予算や、当面の行政課題への対応予算を計上している。厳しい財政状況にあっても、本市の最大の課題である人口減少や良質な雇用の確保等へ対応していく必要があることから、特に、若者の定着、子育て支援の充実、企業誘致や働き手の確保に関する事業に重点を置き、編成している。

天空の不夜城在り方検討会の検討状況は

天空の不夜城が抱える課題や今後の方向性について、様々な立場、視点から検討し市長に提言するものとして在り方検討会が設置され、諸課題への対策について議論していくとのことだが現在の状況は。

これまで4回の検討会を開催し、基本的な検討の視点を運行体制、市民意識、イベント内容、維持管理、観光拠点施設の5つに設定し進めていくことを確認している。4回目の会議において、まずは、運行体制、市民意識をテーマに、担い手の確保、市民意識の向上のための課題解決の方策等について具体的に検討を進めている。

その他の質問事項

- 今後の財政見通し
○天空の不夜城在り方検討会の今後のスケジュール
○観光コンテナの海外へのPR

鍋谷 暁 希望

災害関連死を認定する審査会

災害関連死を認定する審査会の設置規定を市町村が条例で定めることを、国は努力義務化している。円滑な関連死認定を進めるために審査会の設置規定を設ける条例改正を行う考えは。

令和元年に災害弔慰金の支給等に関する法律が改正され、市町村には災害弔慰金等の支給を調査審議するための審議会等を設置する努力義務が課せられた。災害関連死を含め災害弔慰金の支給対象者を速やかに認定するためには審査会等の設置は必要であると考えており、令和6年度中の条例改正に向け検討していく。

災害用トイレレーラーの導入

トイレレーラーは災害時を想定して製造された新しいタイプの移動設置型のトイレであるが、導入する考えは。

令和6年能登半島地震の災害状況を踏まえ、避難所生活が長く続く場合、衛生的なトイレを確保する上で有効な手段であると考えている。他市の例では導入費用は約200万円と高額であるが、財源として有利な起債の活用が可能であることから、平時における活用方法や保管場所等の課題と合わせ、導入に向け検討していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 避難所における災害関連死の防止策
○サテライトオフィス誘致
○小・中学校における金融教育

小野 立 市民ネットワーク (市民の声、大河の会、能代民政会)

若い女性の就きたい職場創出に注力を

出生減の要因は夫婦の持つ子の数が減ったのではなくカップル自体の激減にある。就きたい仕事を求めて若い女性が転出超過となる。移住定住策ではなく若い女性の職場創出こそ対策の柱とすべき。

若い女性が安心して働き、暮らせる環境が重要と認識しており、6年度の能代市人口ビジョンの改訂に先立ち、アンケートを実施する中で、転出者については、対象を18歳〜39歳の女性に絞り、本市の暮らしの印象や再度市内に住む可能性等を調査している。この結果も踏まえ、次期総合戦略の中で、効果的な施策を検討していきたいと考えている。

ふるさと納税の寄附額激減への対策

国の方針によるふるさと納税の値上げ以来、本市への寄附額は約8割も減少し、市内の返礼品取扱事業者が苦境にある。地元産品へのリピーター獲得の好機でもあるふるさと納税。失地回復への対策は。

ネット広告等に高い専門性とノウハウを持つ民間事業者へ業務全般を委託し、返礼品取扱事業者と調整を図りながら取組を進めている。また、ペイペイ商品券の取扱い開始のほか、JAXA能代口ケック実験場とコラボした返礼品の開発等、効果的な取組の研究を積極的に進め、寄附額の増加につなげていきたいと考えている。

その他の質問事項

- 能登地震を機に現れた地方切捨て論への考え
○公共事業に係る契約の在り方の見直し
○議会事務局職員が市職員を兼務する慣例